

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・平成27年6月10日・第16号通信
 責任者・小林 孝夫(井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097
 通信編集作成・馬場わかよ

平成27年度定期総会で6邸を第2回顕彰!

4月29日祝に開催しました

薫風漂う4月29日祝、歴史博物館にて佐藤哲也岐阜市副市長と高木金華自治会連合会長ほかの来賓をお迎えして、井の口まちづくり会定期総会を開催しました。

総会では、平成26年度事業報告及び決算報告、並びに平成27年度事業計画案と予算案の承認がされ、続いて第2回「まちの文化的建造物」の顕彰式が行われました。総会終了後は休憩をはさんで、歴史博物館黒田館長の特別講演が行われました。

ごあいさつ 井の口まちづくり会会長 小林 孝夫

会員数200名弱の井の口まちづくり会も早いもので、発足8年目を迎えました。当会は、まちに根差した歴史文化を大切にすると同時に、住んでいて楽しさを感じられる活動を続けております。古民家や寺院を舞台にした七夕コンサート、お月見スタンプラリー、井の口寄席、年賀状展などは定例になってきました。また、これら以外にも地域の歴史学習会や見学会、さらには文化的な建造物の顕彰にも取り組んでいます。

私たちは今後とも金華山、長良川という日本の宝と、魅力的な町並みの巡り合わせに感謝しながら活動してまいります。会員をはじめとする住民皆さまのご支援がなければ成り立つものではありません。今年度もよろしくお願いたします。



顕彰式に出席いただいた建物管理者の方々と小林会長



祝辞を述べられる佐藤副市長とご来賓(左から高木幹雄連合会長、松原和生市議、高橋和江市議)

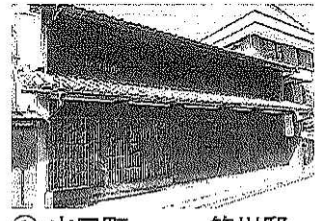
総会セレモニー

第2回「まちの文化的建造物」顕彰式

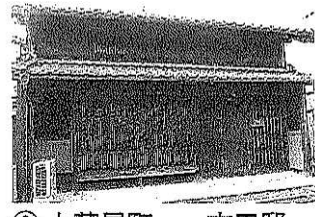
昨年引き続き「まちの文化的建造物」6邸の顕彰式を、総会の席上で行いました。

当日ご臨席いただいた、顕彰の対象となる建物管理者の笹川様、吉田様代理中原様、梅原様、木村様に会場ステージにおいて、小林会長から井の口特製の顕彰札をお渡ししました。

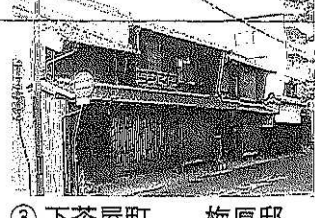
また、所用につきご臨席いただくことができなかった浅野様、鷺見様には、後日顕彰札をお渡しいたしました。(名和利夫)



① 山口町 笹川邸



② 上茶屋町 吉田邸



③ 下茶屋町 梅原邸



④ 下茶屋町 浅野邸



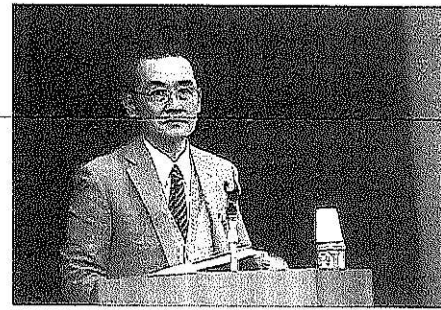
⑤ 今町2丁目 木村邸



⑥ 上茶屋町 鷺見邸

総会特別講演 岐阜公園からぎふメディアアコスモスへ

岐阜市歴史博物館の黒田隆志館長は、赴任されて以来、J・R・名鉄の両岐阜駅と岐阜公園を歩いてつなげたいと考えておられたそう。今回は、岐阜公園からぎふメディアアコスモスまでの道のりを、スライドを交えてお話しいただきました。



講師 黒田隆志館長
 岐阜県恵那市に生まれる。静岡大学人文学部人文学科卒業。岐阜市奉職、社会教育課へ配属。その後、歴史博物館、社会教育課、科学館、歴史博物館への異動を経て、2010年館長に就任。現同職(学芸員)。

岐阜市の成り立ちなどを説明され、本題のスライドショーに入りました。忠節用水取水口からスタートして、岐阜公園の噴水広場、板垣退助像、名和昆虫博物館、歴史博物館を経て、正法寺、妙照寺、常在寺を過ぎ、末広町から伊奈波通り、旧電車通りへと忠節用水に沿って南下しながら、所要所のエピソードや、あるいは館長の推理などもお聞かせいただき、メディアアコスモスまで歩けば25分ほどの道のりの、その長さを感じさせない、楽しい散策となりました。

(片岡雅子)

〔制度の目的〕戦争や震災から残った歴史的建造物を大切に保存管理されてみえる方や、井の口の町並みに根差せる工夫をされて改築をされるなど、地域の魅力創出に努力されている方々がこのまちに数多くいらっしゃいます。

〔選定方法〕井の口まちづくり会に平成26年4月において登録された建造物等の中から、まちの風景検討部会が選定。選定の条件としては、井の口エリア内に存する建造物であり、井の口の文化を醸し出す建造物で維持管理が優れているもの。戦前の歴史的な建造物で外観が程良く保たれているもの。戦後の建物では歴史文化薫る井の口の特性に配慮されたものです。なお、顕彰建造物は、管理者様のご同意を求めます。

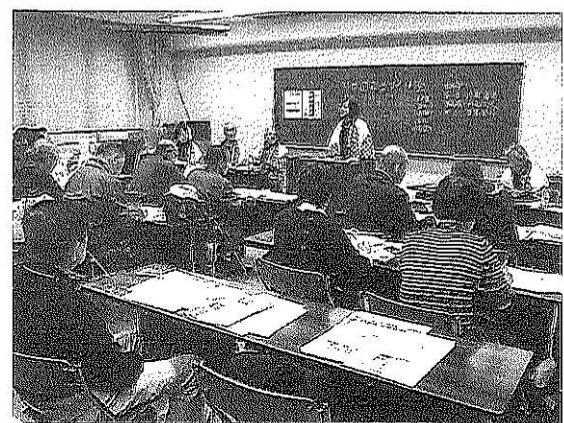
福井市から視察団

昨年11月1日(土)に福井市湊公民館一行が井の口まちづくり会の視察のため、バスに26名が乗り合わせ早朝から一日かけて来岐されました。一行は人口9千人強の小学校区公民館で活動されているメンバーで、通常の公民館事業とともに地区内のお祭りや運動会を主催し、福祉活動や地域活動もされています。

この視察の目的は、井の口まちづくり会の発足経緯と活動内容、その他課題確認などで、公民館主事の方が事前打合わせを含め用意周到な準備をされ、私たちも期待に添えるよう必要な資料作成を行うなど、数名の担当役員で対応いたしました。

福井市と岐阜市、湊校区と金華地区は地域性が似ていることもあり、歴史博物館会議室での意見交換は和気あいあいと過ぎました。昼食後も雨模様で景色を見ていただけず残念でしたが、ボランティアガイドさんのご協力でまちなか散策をして、とても有意義な時間が持てました。

今回の来岐のきっかけは、岐阜市にぎわいまち公社のネットを通して「まちづくり会通信」と「井の口マップ」に触れたことからです。他県からの注目は私たちの今後の活動の大きな励みになりました。(小林孝夫)



歴史博物館会議室での意見交換の様子

井の口まちづくり会事業報告と平成27年度事業計画

平成26年度事業報告

- 4月17日 第1回役員会 妙照寺
- 4月27日 定期総会 歴史博物館
特別講演 河合俊和先生
- 5月13日 地区内自治会長会議
正法寺 (広報通信)
- 5月20日 第2回役員会 妙照寺
- 6月24日 第3回役員会 妙照寺
- 7月 5日 まちなか七夕コンサート
岐阜ドルチェ団員・マリーアンサンブルの4人を般若寺に迎え、ヴァイオリンとギターのタペを開催。(まちなかアート)



- 7月19日 大仏フェスティバル協賛事業
～20日 子供たちを対象にしたゲームを担当(19日は雨で中止)。(イベント)
- 7月24日 第4回役員会 妙照寺
道路修景工事説明会(まちの風景検討)
- 9月10日 第5回役員会 妙照寺
- 9月10日 井の口まちづくり会通信
第15号発行 (広報通信)
- 9月23日 御館街道ウォーク
旧御館所にて資料を配布し、パネルを用いて篠田壽夫氏が説明。(イベント)
- 9月28日 岐阜県歴史資料館特別閲覧会
小川敏雄氏解説による特別閲覧会を県歴史資料館にて開催。(まちの歴史探索)
- 10月4日 まちなかお月見アート
ススキをエリア内の家々に配布し、15時より岐阜女子大学書道部による揮毫パフォーマンスを正法寺境内にて開催。作品は11日まで大仏殿東側に展示。(まちなかアート)

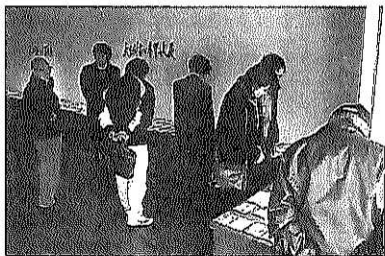


- 10月11日 お月見スタンプラリー
エリア内のお月見3箇所を巡り、ゴールにてぜんざいの振る舞い。(まちなかアート)

- 10月20日 第6回役員会 妙照寺
- 11月 1日 まちづくり団体の視察
福井市湊公民館の一行26名が来岐
歴史博物館会議室、地区内の散策
- 11月16日 日帰りバス視察研修旅行



- 安土城跡と資料館を見学し、昼食後は近江八幡を2グループに分かれボランティアガイドさんの案内で散策。帰りに彦根キャッスルロードで買い物。(まちの風景検討)
- 11月26日 第7回役員会 妙照寺
- 12月 7日 大仏様への年賀状募集開始
大仏殿に投函箱を設置し、投函と年賀郵便で1月7日まで受付。(まちなかアート)
- 1月 9日 大仏様への年賀状展
いただいた年賀状約300枚を11日まで画廊光芳堂にて展示。(まちなかアート)



- 1月13日 第8回役員会 妙照寺
- 2月12日 各部会合同会議 妙照寺
- 2月22日 井の口寄席



- 策伝大賞出演の学生落語家8名が妙照寺本堂に設けた高座で大熱演。中入りには恒例の豚汁の振る舞い。(イベント)
- 2月24日 第9回役員会 妙照寺
- 1月～3月 まちの文化的建造物の選定
(まちの風景検討)

平成27年度事業計画のご案内 多数のご参加をお待ちしています

私たちの暮らすこの地域は、平成25年に「長良川中流域における岐阜の文化的景観」として国の指定がされた中に含まれます。この選定を励みに、当会が目的とする「このまちの歴史文化を知り、住んで楽しく、誇りの持てるまちを次世代に引き継ぐこと」の一層の推進を図っています。今年度の活動は以下の通りです。

会員並びに地域の皆さまと一緒に、このまちを知り、見て、触れて、聴くことで、さまざまな発見と楽しみが待っています。ぜひご参加ください。

- 4月29日 定期総会 歴史博物館
特別講演 黒田隆志歴史博物館館長
 - 5月14日 地区内自治会長会議
正法寺 (広報通信)
 - 6月10日 井の口まちづくり会通信
第16号発行 (広報通信)
 - 7月 5日 まちなか七夕コンサート
演奏・歌 ドルチェ・フォルテ
般若寺(まちなかアート)
 - 7月中旬 大仏フェスティバル協賛事業
子供たちを対象にしたゲーム
正法寺 (イベント)
 - 8月中旬 名和昆虫博物館の今昔物語
名和昆虫博物館(まちの歴史探索)
 - 9月23日 御館街道ウォーク
旧御館所 (イベント)
 - 10月24日 まちなかお月見アート
ススキの配布(まちなかアート)
 - 10月25日 子供たちとのアートイベント
講師 服部正志先生 大仏殿
スタンプラリー(まちなかアート)
 - 11月中旬 町家のあったかい住み方と
町家の管理と保全
改修された地区内の町家の見学と
専門家の解説(まちの風景検討)
 - 12月13日 大仏様への年賀状募集開始
～1月7日 大仏殿(まちなかアート)
 - 平成28年
 - 1月 8日 大仏様への年賀状展
～10日 光芳堂(まちなかアート)
 - 2月中旬 各部会合同会議 妙照寺
 - 2月中旬 井の口まちづくり会通信
第17号発行 (広報通信)
 - 2月下旬 井の口寄席
策伝大賞出演の学生落語家
豚汁の振る舞い(イベント)
 - 年内 井の口マップ改訂版の発行
作成(広報通信)協賛金募集
 - 通年 まちの文化的建造物の選定
(まちの風景検討)
- ※()内は所管部会名です

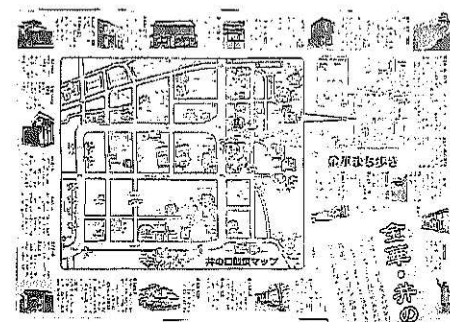
第5回 まちなか七夕コンサート 開催

- 日時 7月5日(日) 午後7時開演(6時30分開場)
- 会場 般若寺(木挽町・公園の湯斜め前・七夕飾りが目印)
- 出演 ドルチェ・フォルテ(垣内裕子、前田陽子)

今年の七夕コンサートは、2010年よりユニットを組んで活躍されているドルチェ・フォルテのお二人をお迎えして、夕刻の金華山を見上げるロケーションのもと、皆さんお馴染みの曲などを素晴らしい演奏と歌声でお届けします。

●入場は無料。地域の皆さま、お子さま連れ、ゆかたでのご来場は大歓迎です。

金華「井の口マップ」改訂版を作成



オモテ面カラー、内面2色印刷

平成21年春に初版を、24年春には改訂版を発行しましたが、残部がなくなり、新しく改訂版を補助金を受けて発行する運びとなりました。

年内の完成を目指し、まちの見どころや歴史文化、さらに、まちづくり会の活動などを紹介していく内容です。

●マップ改訂版作成に対して、協賛金をお願いします。

井の口まちづくり会で発行しているマップではありますが、会費と国からいただく補助金では不足しており、エリア内の店舗、企業、法人の皆さまへ協賛金のお願いに役員が伺います。期間は9月～11月頃、1口3,000円の予定です。



工事はおよそ7年をかけ完成。歩行者と自転車の分離がされ、休憩スポットやせせらぎ水路が散策する人たちにやすらぎを提供しています。

岐阜駅高富線樋川工区完成式

5月28日(木)午前11時より、岐阜駅高富線樋川工区の完成式が歴史博物館前で行われました。市長等によるテープカットとくす玉割りのセレモニーに、井の口まちづくり会からは堀智仙副会長が列席いたしました。思わず歩きたくなる美しい景観。植栽や水路、樋川橋跡には説明板も設置されました。

編集を終えて 馬場わかよ

この6月は前事務局長の河崎さんが亡くなられて3回忌になります。彼が闘病中の最後まで、ご家族や仕事と同様に気にかけて「井の口まちづくり会」の活動は、会長はじめ役員や部会員、会員によって引き継がれています。支える人たちがそれぞれ思いもあって変化しています。河崎さん、空の上から見てくださいますか? 「よくやっているなあ」と褒めていただけよう辞めずに頑張っているのですが、時々は貴方の言葉を思い出して、方向性だけは見失わないようにと思っています。

事務局だより

事務局長 名和 利夫

5月14日夜に、井の口エリア内の自治会長さんとお話しする「自治会長会議」を正法寺にて設けました。私共からは会の活動について資料で説明し、自治会長さんのご協力が必要ですとお願いしました。また、井の口エリア内の住民の皆さんの参加が少ないともお話ししました。

それについて発言された意見の中で、当会の「井の口まちづくり会」という名称が重々しく、外から見ると近づきがたく、参加しづらい感がある。また、「井の口」の意味、「まちづくり」の目的が分からないとの声をいただきました。

ご意見に対して、マップなど参考資料も用い、地域の歴史的特性や発足に至る思いなどを説明させていただきました。ご理解をいただきました。

自治会長さんからは、このように会の目的、活動内容について丁寧に説明していただくと、エリア内の人たちの参加が増えるのではないかとのご指摘もいただき、今回の会議で改めて気づいたことも多々あり、それらは貴重なご意見として今後の活動に活かしていきます。